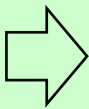


## 経営規模を拡大し、酒米、ウィスキー用大麦を栽培 ～八木 栄幸氏（静岡県焼津市）～

### 経営体の概要

事業前：平成14年度  
基幹作物：主食用米20ha  
経営面積：20ha



現在：令和4年度  
基幹作物：主食用米31.9ha, 酒米15.1ha,  
もち米0.1ha, 大麦2ha（ウィスキー用）  
経営面積：47.1ha

### 取組の経緯と経営転換のポイント等

本経営体が就農する前から国営事業により農業用水が確保されており、大井川用水を活用した農業が営農の前提となっている。事業により老朽化した施設が改修されたことで、引き続き安定的に農業用水が確保され、持続的な農業経営が行われている。

就農当初から経営規模を拡大したことに伴い、田植えが5月上旬～7月上旬までかかり、収量、品質に影響がでていることから、県普及センターの指導を受けながら最適な晩生品種の栽培に取り組んでおり、現在はコシヒカリ、キヌムスメのほかにあいちのかおりを導入している。

### 営農改善のポイント

#### ①経営規模の拡大

近隣であれば農家と調整を行い、中間管理機構を仲介して農地の賃借を行っている。就農当初20haであったが、現在は47haまで経営規模を拡大。今後は所有者の了解が得られれば将来はほ場整備を行うことも考えている。

#### ②流通・販売の工夫

栽培している主食用米は慣行栽培に比べ減化学肥料、減農薬5割削減の特別栽培米とすることでより高い単価で系統出荷し、一部は直売所に出荷している。

また、地元有志10名で構成する酒米づくり研究会に所属し、JAを介して地元日本酒メーカーに酒米を出荷。地元ウィスキーメーカーがウィスキー用大麦の栽培農家を探していたことから有志2名と協力し、県やJAの技術指導を受けながら令和元年度から大麦を水稲の裏作として2haを栽培している。

#### ③栽培技術の確立・向上

代掻き・田植え作業に時間を要し水稲の栽培時期が遅れることから、大麦播種用の農業機械を活用し水稲の直播栽培に取り組んでいる。（R4:10ha）

また、移植栽培用の苗はJAの指導を受けながら自前で栽培しており、生産性を向上させるためプール育苗を導入するほか、生育を安定させるため一部スプリンクラー散水による育苗も行っている。より高い価格での販売を行うため慣行栽培に比べ減化学肥料、減農薬5割削減の特別栽培米を就農当初から栽培している。



耕作している水田



ウィスキー用大麦



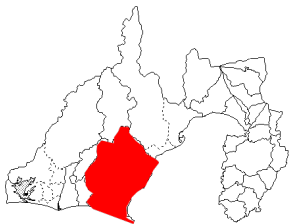
八木氏

#### 事業概要

事業種：国営かんがい排水事業  
関係市町：静岡県 島田市、焼津市、掛川市、  
藤枝市、袋井市、御前崎市、  
菊川市、牧之原市、吉田町

受益面積：7,450ha  
事業期間：平成11年度～平成29年度  
事業目的：用水改良  
主要工事：取水工 1箇所、頭首工 2箇所、  
用水路 L=29.8km、末端用水路 L=74.2km

#### 位置図（静岡県）



大井川用水地区

<問い合わせ先>  
関東農政局  
農村振興部農地整備課  
電話：048-600-0600

（令和4年度調査時点）